



2022年3月期第2四半期 決算説明資料

林兼産業株式会社

2021年11月12日

連結損益計算書の概要



(単位:百万円)

	2021年3月期 第2四半期累計	2022年3月期 第2四半期累計	
		実績	前年増減
売上高	22,373	20,204	▲2,169
営業利益	628	558	▲70
経常利益	720	670	▲49
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,003	412	▲591

前年同期との主な変動要因

売上高	豚肉および魚肉ねり製品の販売数量が減少したことで前年同期を下回る (「収益認識に関する会計基準」等適用による影響額 ▲9億34百万円)
営業利益	売上の減少および貸倒引当金戻入額の減少などにより減益
経常利益	営業利益の減少により減益
親会社株主に帰属 する四半期純利益	前年同期に計上した賃貸用不動産売却益の反動により減益

セグメント別の売上高・営業利益

(単位:百万円)

	2021年3月期 第2四半期累計	2022年3月期 第2四半期累計	
		実績	前年増減
売上高	22,373	20,204	▲2,169
機能・食品事業	12,070	10,401	▲1,668
飼料事業	9,158	8,787	▲371
その他の事業	1,144	1,015	▲128
営業利益	628	558	▲70
機能・食品事業	133	191	57
飼料事業	809	738	▲71
その他の事業	153	109	▲43
消去又は全社	▲468	▲480	▲11

連結貸借対照表の概要



(単位:百万円)

	2021年3月期末	2022年3月期 第2四半期末	
			増減
流動資産	13,633	15,925	2,291
固定資産	15,028	15,184	156
資産合計	28,661	31,109	2,448
流動負債	12,150	13,859	1,708
固定負債	6,271	6,685	414
負債合計	18,422	20,544	2,122
純資産合計	10,239	10,564	325
負債純資産合計	28,661	31,109	2,448

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

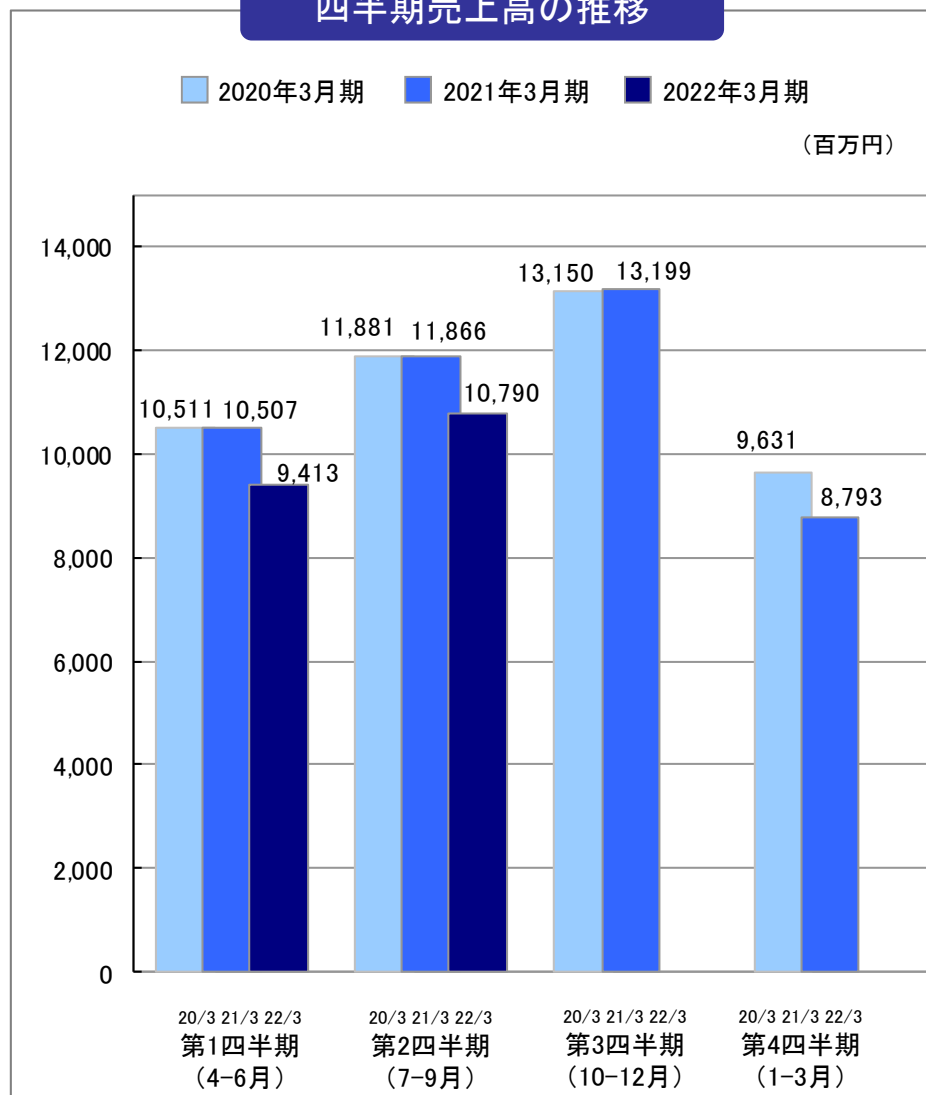


(単位:百万円)

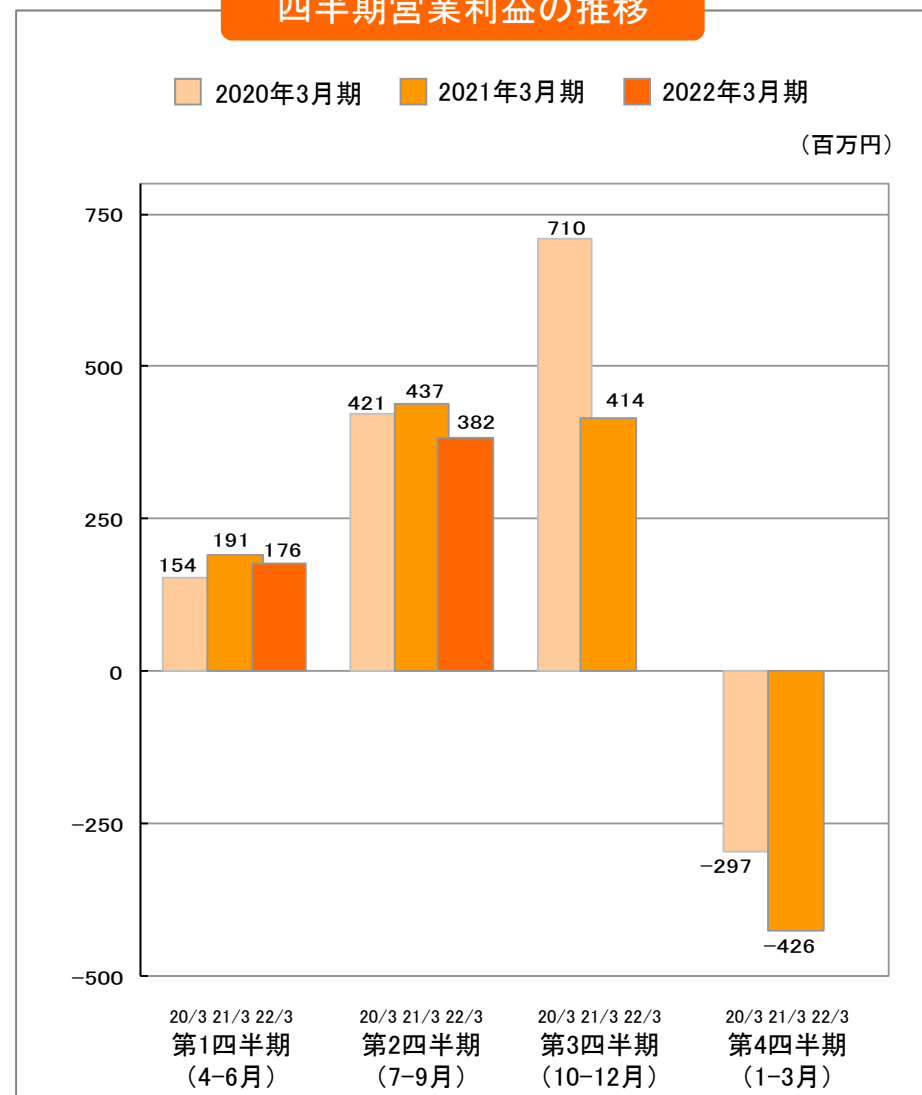
	2021年3月期 第2四半期累計	2022年3月期 第2四半期累計	
			前年増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲209	▲1,704	▲1,494
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,037	▲140	▲1,177
フリー・キャッシュ・フロー	828	▲1,844	▲2,672
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲867	1,133	2,000
現金及び現金同等物の増減額	▲40	▲711	▲671
現金及び現金同等物の期首残高	1,551	1,976	424
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,511	1,264	▲246

四半期連結業績の推移（売上高・営業利益）

四半期売上高の推移



四半期営業利益の推移



セグメントの状況（機能・食品事業）

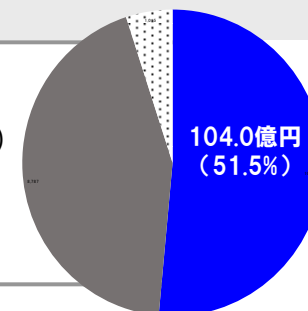
概況：豚肉や魚肉ねり製品の売上減少などがあったものの、機能性食品素材の
販売数量増加などにより増益

（「収益認識に関する会計基準」等適用による影響額 ▲4億38百万円）

機能・食品事業

売上高 104億 1百万円（前年同期 120億70百万円）

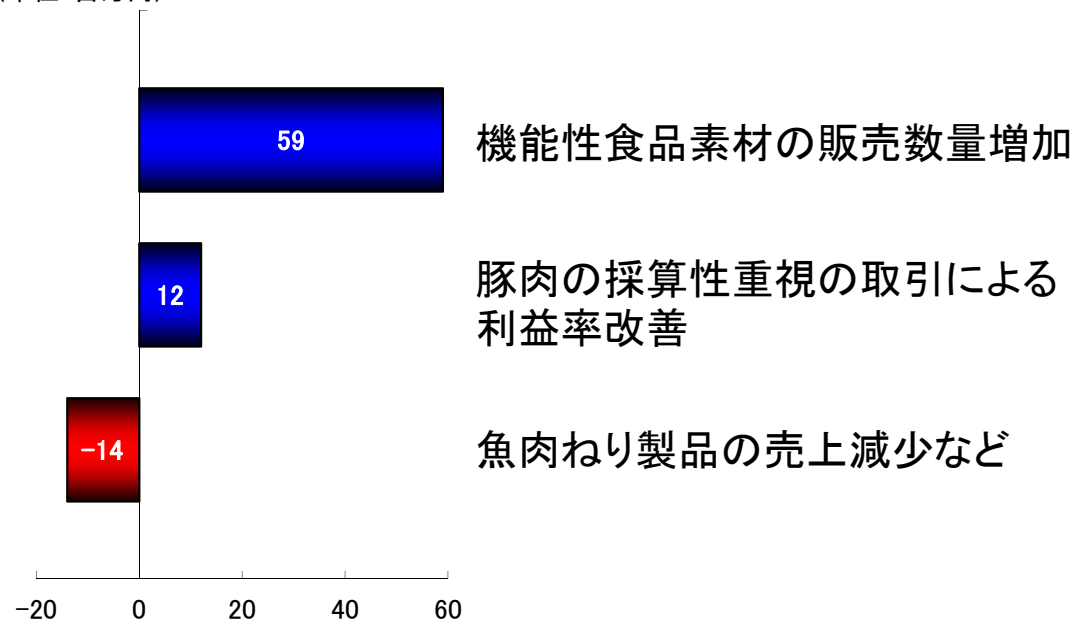
営業利益 1億91百万円（前期比 42.8%増）



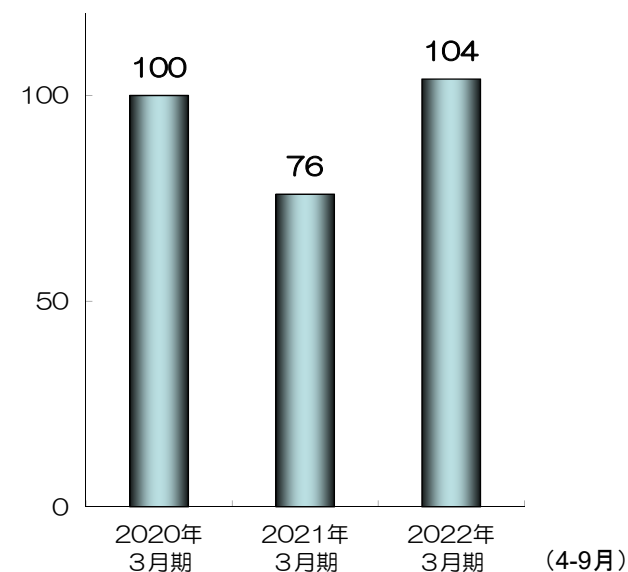
営業利益の増減要因

営業利益の増加 57百万円

（単位：百万円）



機能性食品素材の販売数量推移
（2020年3月期を100とする）



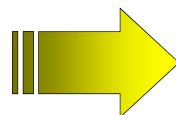
セグメントの進捗状況（機能・食品事業）

機能・食品事業

施策

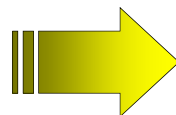
状況

家庭用加工食品の強化



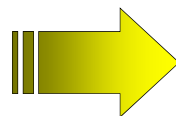
- ・ 魚肉ねり製品販売数量：国内向け（前期比 7.5%減）
海外向け（前期比 12.6%減）

業務用加工食品の強化



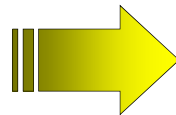
- ・ 介護食：ソフトクレープ販売数量増加
（前期比 12.1%増）

機能性食品素材の拡大



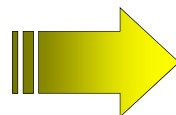
- ・ 機能性食品素材の販売数量増加
（前期比 36.6%増）

食肉供給体制の最適化



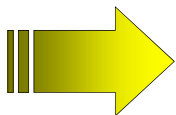
- ・ 国産豚の仕入れと販売の見直しを実施

食肉・加工品の強化と一体化



- ・ 調理食品（レトルト製品）の販売数量増加
（前期比 52.8%増）

生産体制再編による効率化

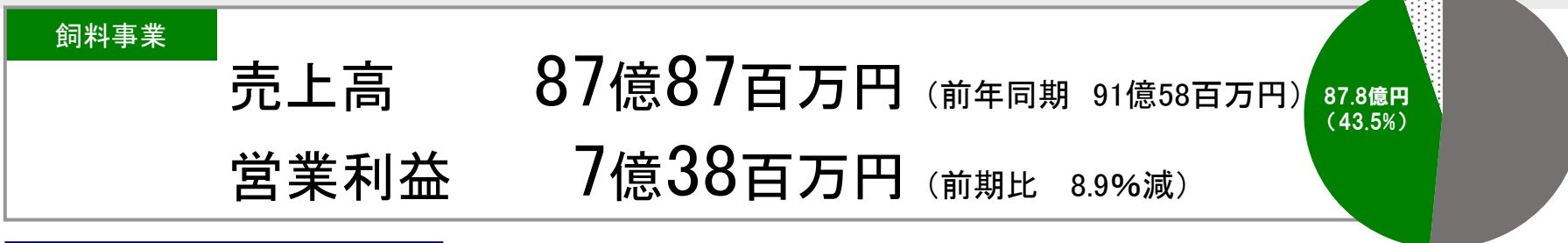


- ・ 生產品目の整理と最適生産工場の再編

セグメントの状況（飼料事業）

概況：養魚用飼料の輸出数量が増加したものの「収益認識に関する会計基準」等適用により売上高が前期を下回り、固定費などの増加により減益

（「収益認識に関する会計基準」等適用による影響額 ▲4億96百万円）

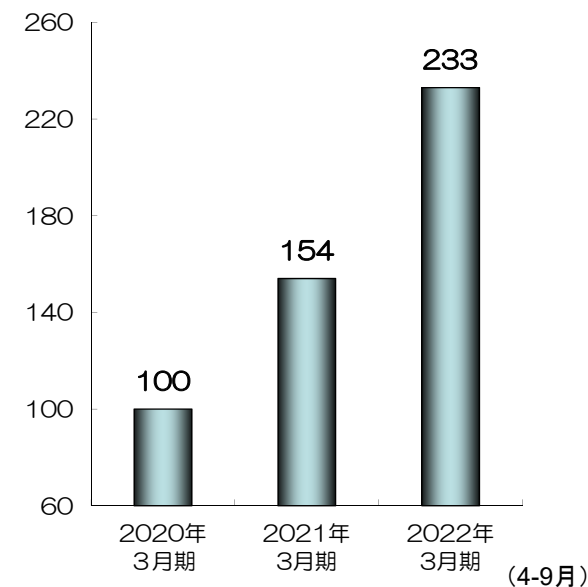
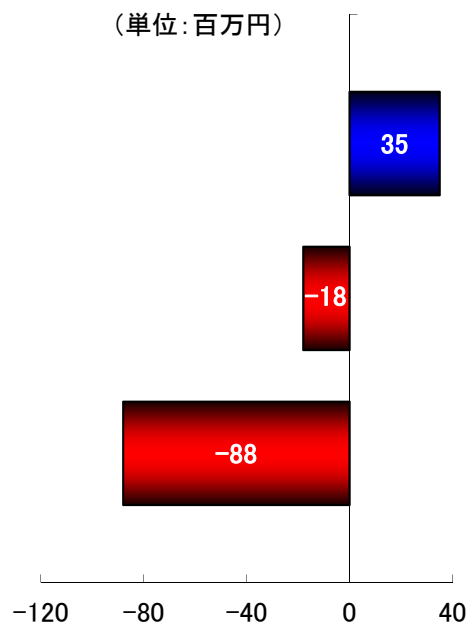


営業利益の増減要因

営業利益の減少 ▲71百万円

養魚用飼料輸出数量推移

（2020年3月期を100とする）



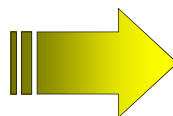
セグメントの進捗状況（飼料事業）

飼料事業

施策

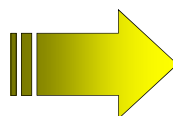
状況

養魚用飼料の差別化販売



- ・大手ブリ養殖業者と連携、肉質改善を目指した飼料を販売中（前期比 130.0%増）
- ・マグロ用EP配合飼料の販売拡大（前期比 12.3%増）
- ・海外輸出対象国と数量の拡大（前期比 57.4%増）

高品質畜産物生産に特化した畜産飼料の販売



- ・霧島黒豚の発育および肉質改善飼料の開発中

連結損益計算書



(単位: 百万円)

	2021年3月期 第2四半期累計		2022年3月期 第2四半期累計		前年増減		主な要因
	実績	売上高比	実績	売上高比	実績	売上高比	
売上高	22,373	100.0%	20,204	100.0%	▲2,169		
売上原価	18,808	84.1%	17,087	84.6%	▲1,720		
販売費及び一般管理費	2,936	13.1%	2,558	12.7%	▲378	▲0.5%	
営業利益	628	2.8%	558	2.8%	▲70	▲0.0%	
受取配当金	54		73		19		
その他	122		109		▲12		(百万円)
営業外収益合計	176		182		6		営業外収益 6
支払利息	68		63		▲4		営業外費用 ▲13
その他	16		7		▲9		営業外収支改善 20
営業外費用合計	84		70		▲13		
経常利益	720	3.2%	670	3.3%	▲49	0.1%	
特別利益合計	808		-		▲808		前年同期賃貸用不動産売却益 781
特別損失合計	48		3		▲45		
税金等調整前四半期純利益	1,480		667		▲813		
法人税等合計	434		204		▲229		
非支配株主に帰属する四半期純利益	42		50		7		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,003	4.5%	412	2.0%	▲591	▲2.4%	

(単位:百万円)

	2021年3月期 実績	2022年3月期			
		第2四半期累計実績	前年増減	通期計画	前年増減
売上高	44,366	20,204	▲2,169	42,500	▲1,866
営業利益	615	558	▲70	610	▲5
経常利益	848	670	▲49	750	▲98
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,291	412	▲591	470	▲821

2022年3月期 通期の見通し

第2四半期連結累計期間の業績は概ね予想どおり推移しており、2021年5月14日に発表した通期の連結業績予想に修正はありません。今後経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

配当の状況



	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2021年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 15.00	円 銭 15.00	百万円 132	% 10.3	% 1.6
2022年3月期	円 銭 —	円 銭 —						
2022年3月期(予想)			円 銭 —	円 銭 15.00	円 銭 15.00		28.1	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正はありません

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることを御承知おき下さい。

IRお問い合わせ先 林兼産業株式会社 総務部 TEL 083-266-0210
IRサイト <http://www.hayashikane.co.jp/ir/index.html>